

「褒め役」もお願ひします

たかはまも自分の子ども時代と比べたらずいぶん変わったとは思いますが、地域の方たちが、学校や子どもたちのことに温かく力添えをしてくださり、子どもが育つ環境としてはとてもいいと思っています。

各学区では、保護者の皆さんのほか、例えばまち協などの地域団体が、子どもを視野に入れた取り組みを行っていますし、「ちょっと助けて欲しいんだけど」と声をかけると、すぐ来てくれる方々がいてありがたいですね。これはもう「高浜版」コミュニケーションスクール」といってもいいのではないのでしょうか。

悪いことをしていればバシッと叱ってほしいし、できれば「褒め役」の協力もお願ひしたい。子どもは褒められて育つ。例えば「学校の花壇は手入れが行き届いてきれいだね!」とか「〇〇大会でがんばったんだってね!」など通学路で声をかけてもらうと、大喜びで先生に報告にきます。自分の学校に誇りを持つし、自分の育つまがが好きになっていくんですね。学習も大切ですが、いろいろな切り口から子どもの成長をサポートしていただきたいです。地

域の方の声かけは効き目があるんですよ。

人間力を高めていこう

昔は「知・徳・体」といいましたが今は「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を「生きる力」と称して教育のめざすところとなっています。たかはまの子どもたちには、この「生きる力」を高め「人間力」を育んでほしいなと思っています。例えば、中学生があかちゃん和交流する授業（下記参照）では、幼い子を愛おしむ心を実感し、将来の自分を想像する。こういう体験も人間力を高める下支えになっています。

私はいつも、子どもたちには自尊心というか「へこたれない心」を持つてほしいと思っています。多少思いどおりにいかないことがあっても、自尊心があれば、機会を待つことや違う方法を探ることがができる。私が教員生活を経て実感した「人は変わる、その気になったときが変われるとき」であることを子どもたちに知らせ、みずから心のスイッチを押せる「たかはまっ子」になってほしいと願っています。

未来からの留学生たちには、「自分・家庭・地域・たかはま」を好きになってもらわないとね!

いつかパパ・ママになる中学生に、こんな授業も行っています。



「あかちゃんは柔らかくて、さわったり見たりするだけで幸せにしてくれる宝物だと思いました。」「ちゃんと育ててくれた自分のお母さんにも感謝して、大人になってこの経験を忘れずに、いいお母さんになりたいと思いました。」などの中学生の感想に、協力したお母さんたちもにっこり。

「市内2つの中学校と連携し、3年生の家庭科の授業の一環で、あかちゃん親子との交流の機会を提供しています。命のつながりを実感できる貴重な機会になっていて、毎年嬉しい反応があります。難しい年ごろだと思いますが、あかちゃんたちに見せる優しい笑顔に、担任の先生もびっくりしています。見守るお母さんたちには、未来のパパ・ママに向けて、出産時の思い出や、育児の楽しさや大変さを伝えてもらっています。最近では、この授業を受けた世代がお母さんとなって、協力者として参加してくれるようになっています。たかはままで子育てしていきたいな、と若い世代の方に思ってもらえると嬉しいですね。」子育て応援団 PamPam チャイルド主宰・古橋知美さん

中学生とあかちゃん親子のふれ愛交流会
協力者親子募集

- とき 5月10日・17日・24日・31日、6月14日・21日・28日、7月5日 午前10時30分～11時45分ごろ
※すべて火曜日。全日参加可。都合が悪い日は事前連絡要
- ところ 高浜中学校 ※南中学校は9月ごろ予定
- 募集 1歳未満のあかちゃんとその保護者30組程度
※きょうだいで参加の場合は1歳以上の子も参加可
- 申込方法 Eメールで、あかちゃんの①名前（同伴きょうだいの名前も）、②生年月日、③保護者氏名、④連絡先（Eメールアドレス、電話番号）を送信
- 申込・問合せ 子育て応援団 PamPam チャイルド（古橋）
☎52-6598 Eメール hidamari-house@katch.ne.jp